

# 令和4年度 山梨県公立小中学校教育課程実施状況調査 結果の概要

山梨県総合教育センター

## 1. 調査の目的

小学校及び中学校における学習指導要領に基づく教育課程の実施状況について、学習指導要領における各教科の目標や内容に照らした学習の実現状況を調査することで、指導上の課題を明らかにして、今後の学校における学習指導の改善に資する。

## 2. 調査の対象等

対象学年	校数	受検児童生徒数	調査教科	出題範囲
小学校第6学年	16校	637人	社会	小学校第5学年の学習内容から出題
中学校第3学年	10校	686人	社会	中学校第2学年の学習内容から出題
		686人	英語	

※該当学年において、児童生徒数の約1割になるよう、無作為抽出した。

## 3. 調査の日時

区分	小学校	中学校
実施期間	令和4年4月18日（月）から5月13日（金）までの期間 学校ごと実施	
調査教科 (実施時間)	社会（各40分）	社会・英語（各45分）

## 4. 各教科の主な結果

校種・学年・教科	設問数(問)	県平均正答率 (%)	全国平均正答率 (%)	県ー全国 (ポイント)
小・6・社会	29	64.9	69.5	-4.6
中・3・社会	29	54.5	55.0	-0.5
中・3・英語	32	52.9	54.1	-1.2

## 5. 全体的な傾向の分析・考察

- ・小学校社会では、自動車づくり等の具体的知識に関連した問題についてはできている。概念的知識や地形図や資料の読み取り等の技能の定着に課題がある。
- ・中学校社会では、知識・技能に関する問題については全国平均正答率と同等である。社会的事象の意味や背景の理解や思考・判断・表現等に関する問題について課題がある。
- ・中学校英語では、知識・技能、思考・判断・表現に関する問題ともに、全国平均正答率と同等程度である。正確な英語で書くことや目的や場面・状況に応じて表現することに課題がある。

## 6. 授業改善への取組

- ・各学校における具体的な授業改善に生かすために、分析結果を反映させた研修や学校訪問による指導等を行い、各学校の授業改善に向けた取組につなげる。
- ・教員を対象とした学力向上フォーラム（8月19日実施）において、分析結果を公表し、本県児童生徒の各種学力調査における成果と課題、対応策を共有する。
- ・課題のある学習内容について「ピックアップ問題」を作成、配信する。各学校は、「ピックアップ問題」を用いて、調査該当学年を含め全校体制で授業改善や個別の指導に生かす。

令和4年度 教育課程実施状況調査結果の分析 小学校第6学年・社会

実施生徒数 (人)	設問数 (問)	県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
597人	29問	64.9	69.5	-4.6

		県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
領域	国土	61.4	61.9	-0.5
	農水	66.5	72.3	-5.8
	工業	68.1	74.1	-6.0
	情報	58.2	62.9	-4.7
	環境	62.1	67.2	-5.1
観点	知識・技能	65.9	70.4	-4.5
	思考・判断・表現	62.3	67.3	-5.0
	主体的に学習に取り組む態度	60.7	63.5	-2.8
解答形式	選択式	63.5	68.2	-4.7
	短答式	68.2	72.8	-4.6
	記述式	67.4	70.8	-3.4

設問別正答率													
通し 番号	解答 形式	観点			領域				問題の内容	出題のねらい	県 正 答 率 (%)	全 国 正 答 率	全 国 と の 差
		知	思	態	国 土	農 水	工 業	情 報					
1	選択	◎		◎	◎					世界の大陸と主な海洋の理解をもとに、地図を読み取っている。	74.9	75.4	-0.5
2	選択	◎			◎					韓国の国旗と位置について理解している。	74.9	73.6	1.3
3	選択	◎			◎					北方領土の問題について理解している。	70.5	61.7	8.8
4	選択	◎		◎	◎					日本の主な地形の名称と位置の理解をもとに、地図を読み取っている。	40.5	43.6	-3.1
5	選択		◎	◎	◎					日本の気候の特徴に着目して、日本海側の気候の雨温図を判断している。	36.9	41.0	-4.1
6	短答	◎			◎					梅雨について理解している。	71.0	76.1	-5.1

7	選択	◎	◎	◎					日本の農業	都道府県の位置と農産物の産地の理解をもとに、適切な地図を判断している。	82.1	79.8	2.3
8	記述	◎	◎	◎					日本の農業	資料に着目して、米づくりの作業時間の変化とその理由を捉え、表現している。	79.7	83.1	-3.4
9	選択	◎		◎					日本の水産業	日本の主な漁港と水揚げ量の資料を読み取っている。	67.2	72.2	-5.0
10	選択	◎		◎					日本の水産業	日本の漁業別生産量の変化の資料を読み取っている。	36.2	48.5	-12.3
11	選択	◎		◎					日本の食料生産	食料自給率について、資料を読み取っている。	44.6	55.7	-11.1
12	選択	◎	◎	◎					日本の食料生産	話に着目して、食料輸入の拡大とその問題点について判断している。	76.2	84.0	-7.8
13	選択	◎		◎					日本の食料生産	地産地消の取り組みを理解している。	79.9	82.5	-2.6
14	選択	◎		◎					自動車をつくる工業	自動車工場の作業工程について理解している。	87.8	88.4	-0.6
15	選択	◎		◎					自動車をつくる工業	これからの自動車づくりについて理解している。	86.1	94.3	-8.2
16	短答	◎		◎					自動車をつくる工業	電気自動車について理解している。	87.3	82.6	4.7
17	選択	◎		◎					日本の工業生産	日本の工業生産のさかんな地域について、資料を読み取っている。	56.6	74.4	-17.8
18	短答	◎		◎					日本の工業生産	太平洋ベルトについて理解している。	55.9	67.9	-12.0
19	選択	◎	◎	◎					日本の工業生産	日本の工業生産の変化の理解をもとに、資料を読み取っている。	58.1	58.3	-0.2
20	短答	◎		◎					日本の工業生産	日本の工業生産額のグラフを完成させている。	62.6	65.9	-3.3
21	選択	◎		◎					日本の工業生産	資料に着目して、日本の工場の特徴を考え、判断している。	64.2	74.0	-9.8

22	選択	◎					◎			日本の工業生産	日本の輸出品の資料を読み取っている。	67.5	72.8	-5.3
23	選択	◎					◎				日本の貿易の特色について理解している。	61.6	66.5	-4.9
24	選択		◎					◎			複数の資料をもとに、日本の輸送について判断している。	61.0	70.1	-9.1
25	短答	◎							◎	情報を生かした産業	メディアの特徴を理解している。	83.9	87.5	-3.6
26	短答	◎							◎		情報の発信と受信の注意点について理解している。	47.6	53.7	-6.1
27	選択		◎	◎					◎		資料に着目して、コンビニエンスストアの発注システムについて捉え、判断している。	43.2	47.5	-4.3
28	短答	◎							◎	自然環境と国民生活	自然災害から生活を守る設備(防潮堤)について理解している。	69.2	75.8	-6.6
29	記述		◎	◎					◎		資料に着目して、森林の働きを捉え、表現している。	55.1	58.5	-3.4

【観点について】観点の表記の意味は右記の通りです。(知)知識・技能、(思)思考・判断・表現、(態)主体的に学習に取り組む態度

【領域について】(国土)国土の自然などの様子、(農水)農業や水産業、(工業)工業生産、(情報)産業と情報との関わり、(環境)国土の自然環境と国民生活

成果及び課題が見られる設問は、主に「県正答率」「全国正答率との差」を踏まえて、取り上げています。

【成果が見られる設問】				
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
3	70.5	61.7	選択	8.8
問題の内容	世界中の国土			
出題のねらい	北方領土の問題について理解している。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
16	87.3	82.6	短答	4.7
問題の内容	自動車をつくる工業			
出題のねらい	電気自動車について理解している。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
7	82.1	79.8	選択	2.3
問題の内容	日本の農業			
出題のねらい	都道府県の位置と農産物の産地の理解をもとに、適切な地図を判断している。			

【課題が見られる設問】				
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
10	36.2	48.5	選択	-12.3
問題の内容	日本の水産業			
出題のねらい	日本の漁業別生産量の変化の資料を読み取っている。			
授業改善の手立て	日本の食料生産の概要について、社会的事象の見方・考え方を働かせ、例えば、「どこでどのようなものが生産されているか」、「生産量はどのように変化しているか」、「外国とどのような関わりがあるか」等の問いを設けて調べたり、食料生産と国民生活を関連付けて考えたりして、調べたことや考えたことを表現することを通して、日本の食料生産の概要についての理解を目指すような展開が考えられる。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
17	56.6	74.4	選択	-17.8
問題の内容	日本の工業生産			
出題のねらい	日本の工業生産のさかんな地域について、資料を読み取っている。			
授業改善の手立て	日本の工業生産の概要について、社会的事象の見方・考え方を働かせ、例えば、「日本はどのような工業がさかんか」、「工業のさかんな地域はどのように広がっているか」、「工業製品はどのように改良されてきたか」等の問いを設けて調べたり、工業製品と国民生活を関連付けて考えたりして、調べたことや考えたことを表現することを通して、日本の工業生産の概要についての理解を目指すような展開が考えられる。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
18	55.9	67.9	短答	-12.0
問題の内容	日本の工業生産			
出題のねらい	太平洋ベルトについて理解している。			
授業改善の手立て	日本の工業生産の概要について、社会的事象の見方・考え方を働かせ、例えば、「日本はどのような工業がさかんか」、「工業のさかんな地域はどのように広がっているか」、「工業製品はどのように改良されてきたか」等の問いを設けて調べたり、工業製品と国民生活を関連付けて考えたりして、調べたことや考えたことを表現することを通して、日本の工業生産の概要についての理解を目指すような展開が考えられる。			

令和4年度 教育課程実施状況調査結果の分析 中学校第3学年・社会

実施生徒数 (人)	設問数 (問)	県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
606人	29問	54.5	55.0	-0.5

		県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
領域	地理	53.4	53.0	0.4
	歴史	55.3	56.6	-1.3
観点	知識・技能	54.1	54.1	0.0
	思考・判断・表現	55.3	57.1	-1.8
	主体的に学習に取り組む態度	40.8	42.6	-1.8
解答形式	選択式	54.4	55.2	-0.8
	短答式	60.3	58.5	1.8
	記述式	43.5	45.7	-2.2

設問別正答率							問題の内容	出題のねらい	県正答率 (%)	全国正答率	全国との差
通し番号	解答形式	観点			領域						
		知	思	態	地	歴					
1	選択	◎			◎		日本の地域的特色と地域区分	日本の気候の特色について理解している。	87.3	84.3	3.0
2	短答	◎			◎			日本の地形の特色について理解している。	48.7	44.7	4.0
3	短答	◎			◎			日本の人口ピラミッドの変化について理解している。	84.5	86.1	-1.6
4	記述		◎	◎	◎			日本の産業の特色について、資料に着目して考察し、表現している。	40.9	45.7	-4.8
5	選択		◎		◎		日本の諸地域	北海道、関東地方の農業について、資料をもとに考察している。	61.7	56.8	4.9
6	選択	◎			◎			九州地方の地形について理解している。	64.9	62.4	2.5
7	選択	◎			◎			東北、中部(北陸)地方でさかんな伝統産業や地場産業について理解している。	82.5	85.6	-3.1
8	選択	◎			◎			日本の各地方の工業の特色について理解している。	34.3	29.3	5.0

9	選択	◎	◎	◎	◎	日本の地域的特色と地域区分	日本の海上輸送と航空輸送の特色についての理解をもとに、資料に着目して考察している。	26.7	26.9	-0.2
10	選択	◎		◎	◎	地域調査の手法	地域調査の手法について理解している。	21.6	25.0	-3.4
11	選択	◎			◎		地形図を読み取っている。	54.8	55.9	-1.1
12	選択	◎		◎	◎	ヨーロッパ人との出会いと全国統一	ポルトガルによる新航路の開拓についての理解をもとに、資料を読み取っている。	38.9	42.1	-3.2
13	選択	◎			◎		宗教改革によるキリスト教世界の動きについて理解している。	41.9	34.9	7.0
14	短答	◎			◎		南蛮貿易について理解している。	59.2	61.1	-1.9
15	選択		◎		◎		織田信長の統一事業について、資料に着目して考察している。	86.0	90.0	-4.0
16	選択		◎		◎		豊臣秀吉の政策について、複数の資料をもとに考察している。	63.2	61.2	2.0
17	選択	◎			◎	江戸時代	金の含有量と物価変動について、複数の資料を読み取っている。	51.3	55.7	-4.4
18	短答	◎			◎		百姓一揆に結び付いた飢饉への対応について理解している。	48.8	42.1	6.7
19	選択	◎			◎		欧米諸国の接近について理解している。	49.2	50.1	-0.9
20	選択	◎			◎		江戸幕府による政治改革について理解している。	53.6	56.9	-3.3
21	選択		◎	◎	◎	明治時代	尊王攘夷から倒幕への転換について、資料をもとに考察している。	49.8	54.1	-4.3
22	選択	◎			◎		殖産興業政策について理解している。	60.9	67.8	-6.9
23	選択		◎		◎		文明開化のもとで生まれた思想に関する資料をもとに考察している。	64.4	68.8	-4.4
24	選択	◎			◎		樺太・千島交換条約で確定した領土について理解している。	56.8	54.1	2.7
25	選択		◎		◎		明治新政府の外交について、資料をもとに考察している。	59.0	64.3	-5.3
26	選択	◎		◎	◎		立憲制国家の仕組みについての理解をもとに、資料を読み取っている。	71.6	69.7	1.9

27	選択	◎		◎	◎		日本の地域的特色と地域区分	日本の産業の特色について、複数の資料を読み取っている。	40.6	41	-0.4
28	記述		◎	◎	◎		日本の諸地域	日本の各地方の産業について、複数の資料をもとに考察し、表現している。	46.0	45.7	0.3
29	選択	◎		◎		◎	ヨーロッパ人との出会いと全国統一	近世・近代の歴史についての理解をもとに、複数の資料を読み取っている。	31.7	32.9	-1.2

【観点について】観点の表記の意味は右記の通りです。(知)知識・技能、(思)思考・判断・表現、(態)主体的に学習に取り組む態度

【領域について】(地理)地理、(歴史)歴史

成果及び課題が見られる設問は、主に「県正答率」「全国正答率との差」を踏まえて、取り上げています。

【成果が見られる設問】				
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
13	41.9	34.9	選択	7.0
問題の内容	ヨーロッパ人との出会いと全国統一			
出題のねらい	宗教改革によるキリスト教世界の動きについて理解している。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
18	48.8	42.1	短答	6.7
問題の内容	江戸時代			
出題のねらい	百姓一揆に結び付いた飢饉への対応について理解している。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
5	61.7	56.8	選択	4.9
問題の内容	日本の諸地域			
出題のねらい	北海道、関東地方の農業について、資料をもとに考察している。			

【課題が見られる設問】				
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
10	21.6	25.0	選択	-3.4
問題の内容	地域調査の手法			
出題のねらい	地域調査の手法について理解している。			
授業改善の手立て	対象地域を学校周辺とし、学校所在地の事情を踏まえて、防災、人口の偏在、産業の変容、交通の発達などの事象から適切に主題を設定し、観察や調査を位置付け、様々な資料を的確に読み取ったり、地形図を有効に活用して事象を説明したりするなどの作業的な学習活動を意図的・計画的に取り入れることが考えられる。その際に、「(3)日本の諸地域」における学校所在地を含む地域の学習や、「(4)地域の在り方」と結び付けて授業をデザインすることも考えられる。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
22	60.9	67.8	選択	-6.9
問題の内容	明治時代			
出題のねらい	殖産興業政策について理解している。			
授業改善の手立て	「明治政府の諸改革の目的」などに着目して課題(明治政府はどのような国づくりを目指したのだろうか)を設定し、明治政府の諸改革が政治や文化や人々の生活に与えた影響を考察し、その結果を表現する活動などを工夫して、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことの理解を目指すという展開が考えられる。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差 (ポイント)
25	59.0	64.3	選択	-5.3
問題の内容	明治時代			
出題のねらい	明治新政府の外交について、資料をもとに考察している。			
授業改善の手立て	「明治政府の諸改革の目的」などに着目して課題(明治政府はどのような国づくりを目指したのだろうか)を設定し、明治政府の諸改革が政治や文化や人々の生活に与えた影響を考察し、その結果を表現する活動などを工夫して、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことの理解を目指すという展開が考えられる。			

令和4年度 教育課程実施状況調査結果の分析 中学校第3学年・英語

実施生徒数 (人)	設問数 (問)	県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
606人	32問	52.9	54.1	-1.2

		県正答率 (%)	全国正答率 (%)	県-全国正答率 (ポイント)
領域	聞くこと	66.6	66.2	0.4
	読むこと	50.7	52.5	-1.8
	書くこと	42.7	44.5	-1.8
観点	知識・技能	60.2	61.8	-1.6
	思考・判断・表現	37.0	37.3	-0.3
	主体的に学習に取り組む態度	53.4	53.4	0.0
解答形式	選択式	60.6	61.4	-0.8
	短答式	51.6	54.6	-3.0
	記述式	27.2	28.1	-0.9

設問別正答率							問題の内容	出題のねらい	県正答率 (%)	全国正答率	全国との差
通し番号	解答形式	観点			領域						
		知	思	態	聞	読	書				
1	選択	◎		◎	◎		リスニング(内容理解)	絵を適切に表している英文を聞き取ることができる。(状況)	96.2	94.3	1.9
2	選択	◎		◎	◎			絵を適切に表している英文を聞き取ることができる。(比較級・最上級)	89.4	89.8	-0.4
3	選択	◎		◎	◎			絵を適切に表している英文を聞き取ることができる。(条件と行動)	72.3	71.4	0.9
4	選択	◎		◎	◎		リスニング(対話文の応答)	対話の内容を聞き取り、適切に応答することができる。(見てもいいかとたずねられて)	61.6	61.0	0.6
5	選択	◎		◎	◎			対話の内容を聞き取り、適切に応答することができる。(Tシャツを母親に買ってもらったのかとたずねられて)	56.3	58.2	-1.9
6	選択	◎		◎	◎			対話の内容を聞き取り、適切に応答することができる。(何をしたかとたずねられて)	67.8	67.7	0.1

7	選択	◎		◎	◎				リスニング(さまざまな英文の聞き取り)	英文の概要を聞き取ることができる。	78.5	79.9	-1.4
8	選択		◎	◎	◎				リスニング(さまざまな英文の聞き取り)	英文の要点を聞き取ることができる。	61.6	56.1	5.5
9	記述		◎	◎	◎				リスニング(対話文の応答)	対話の内容を聞き取り、資料をもとに英語で答えることができる。	15.7	17.4	-1.7
10	選択	◎						◎	語形・語法の知識・理解	語形・語法を理解することができる。(be動詞の過去の疑問文)	24.4	25.7	-1.3
11	選択	◎						◎		語形・語法を理解することができる。(疑問詞when)	75.9	76.3	-0.4
12	選択	◎						◎		語形・語法を理解することができる。(一般動詞過去の疑問文)	41.1	43.7	-2.6
13	選択	◎						◎		語形・語法を理解することができる。(There are ～.の疑問文)	48.2	54.7	-6.5
14	選択	◎						◎	語彙の知識・理解	対話文の情報を正しく読み取ることができる。	76.4	77.9	-1.5
15	選択	◎						◎			71.1	77.8	-6.7
16	選択	◎						◎	さまざまな英文の読み取り	英文と情報・条件をもとに、適切なものを選ぶことができる。	59.9	61.7	-1.8
17	選択		◎					◎			82.0	80.3	1.7
18	選択	◎						◎		対話の流れと資料から、適切な語(句)を判断することができる。	51.5	45.8	5.7
19	選択		◎					◎		対話の流れから、登場人物の適切な発言を判断することができる。	41.7	44.5	-2.8
20	選択	◎						◎	長文の読み取り	下線部thisが指す内容を把握することができる。	53.3	54.1	-0.8
21	選択	◎						◎		メールの内容から、適切な語句を選ぶことができる。	20.3	22.6	-2.3
22	選択	◎						◎		メールの内容を把握することができる。	43.1	46.8	-3.7
23	短答		◎					◎		メールの内容をふまえて、適切な語を補うことができる。	21.0	23.6	-2.6

24	短答	◎				◎	単語の並べかえによる英作文	英文を正しい語順で書くことができる。(SVOOの文)	53.5	59.5	-6.0
25	短答	◎				◎		英文を正しい語順で書くことができる。(比較表現を含む疑問文)	41.1	45.9	-4.8
26	短答	◎				◎		英文を正しい語順で書くことができる。(don't have to ~の文)	71.3	71.9	-0.6
27	短答	◎				◎		英文を正しい語順で書くことができる。(as ~ as ...の文)	71.1	72.1	-1.0
28	記述		◎	◎			場面に応じて書く英作文	対話の流れに合った英文を書くことができる。(whenを使って時をたずねる)	15.3	16.3	-1.0
29	記述		◎	◎				対話の流れに合った英文を書くことができる。(相手がいちばん好きな季節をたずねる)	35.5	37.4	-1.9
30	記述		◎	◎			3文以上の英作文	部活動に対する自分の考えや意見を書くことができる。	26.7	30.0	-3.3
31	記述		◎	◎				自分の考えや意見の理由や説明を書くことができる。	41.9	40.5	1.4
32	記述		◎	◎				テーマにそって、3文以上の英文で書くことができる。	28.2	27.0	1.2

【観点について】観点の表記の意味は右記の通りです。(知)知識・技能, (思)思考・判断・表現、(態)主体的に学習に取り組む態度

【領域について】(聞)聞くこと, (読)読むこと, (書)書くこと

成果及び課題が見られる設問は、主に「県正答率」「全国正答率との差」を踏まえて、取り上げています。

#### 【成果が見られる設問】

通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
8	61.6	56.1	選択	5.5
問題の内容	リスニング(さまざまな英文の聞き取り)			
出題のねらい	英文の要点を聞き取ることができる。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
17	82.0	80.3	選択	1.7
問題の内容	リーディング(さまざまな英文の読み取り)			
出題のねらい	英文と情報・条件をもとに、適切なものを選ぶことができる。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
18	51.5	45.8	選択	5.7
問題の内容	リーディング(さまざまな英文の読み取り)			
出題のねらい	対話の流れと資料から、適切な語(句)を判断することができる。			

【課題が見られる設問】				
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
13	48.2	54.7	選択	-6.5
問題の内容	語形・語法の知識・理解			
出題のねらい	語形・語法を理解することができる。(There are ～.の疑問文)			
授業改善の手立て	疑問文の語順や代名詞の活用には経年的に課題がある。帯活動やSmall Talkを活用し、既習事項に繰り返し触れることを意識することが大切である。言語活動の際には、表現内容の適切さや英語使用の正確さを確認したり、適切にフィードバックを与えることを意識したい。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
22	43.1	46.8	選択	-3.7
問題の内容	リーディング(長文の読み取り)			
出題のねらい	メールの内容を把握することができる。			
授業改善の手立て	まとまりのある文章のあらすじを捉えることができるように、内容が理解できる文や語句を手掛かりとしながら、読み取りづらい部分も推測して読み進めていけるようにしたい。そのために、文章全体や段落ごとにタイトルをつけさせる活動や、物語を読みタイムラインなどで出来事を順に整理する活動、書き手が伝えたい部分に線を引かせる活動、要約文を書かせる活動などを行うことが考えられる。			
通し番号	県正答率(%)	全国正答率(%)	出題形式	全国正答率との差(ポイント)
30	26.7	30	記述	-3.3
問題の内容	3文以上の英作文			
出題のねらい	部活動に対する自分の考えや意見を書くことができる。			
授業改善の手立て	目的・場面・状況に応じて、自分の考えや意見を書くことに課題がある。普段の授業で、聞いたり読んだりしたことを、それだけにとどめずに、その内容について自分の考えを話したり書いたりする活動に取り組むことが大切である。例えば、教科書本文を読み、そこで取り上げられている題材に関して、書き手の主張をまとめたり、話題になっていることについてペアやグループで伝え合ったりすることで、自分の考えを整理して感想や意見を書くことにつながる。			